



森野旧薬園と 薬草栽培への挑戦



2025年春季展覧会

会期: 2025年 3月23日(日)
～6月15日(日)

会場: 森野旧薬園 資料室

開館時間: 9:30～16:30

期間中無休

(但し旧薬園入園料500円)

主催: 森野旧薬園

共催: 大阪大学総合学博物館

協力: 一般社団法人日本東洋医学会

近畿大学薬学部薬用資源学研究室・

国立研究開発法人 農業・食品産業

技術総合研究機構・つくば牡丹園・

(株)前忠・日本漢方生薬ソムリエ協会・

七王工業(株)・(株)栃本天海堂・福田商店・

愛知教育大学教育学部社会科教育講座日本史研究室

森野旧薬園と薬草栽培への挑戦

森野旧薬園は現存する最古の私設薬用植物園です。森野初代藤助通貞(号:賽郭、1690～1767年)が1729年に創始し、八代将軍徳川吉宗が推進した薬種国産化政策の一翼を担いました。森野家の人々は賽郭以降、子孫代々藤助を名乗り、家業の葛粉製造と薬園の維持・拡充に心血を注いできました。幕府から下賜され、栽培化を試みた中国産防風に『藤助防風』の名が残るなど、受け継がれてきた薬草国産化への情熱は、様々な形で実を結んでいます。明治以降の近代化で伝統的な和漢薬が衰退し、各地の薬園が途絶・衰退する中でも、旧薬園は森野家やそれを支える人々の努力により維持され、1926年(大正15)には国の史跡指定を受けています。森野家には様々な立場や知識を持つ人々との交流を示す記録が残り、多くの人々の力によって薬園の歴史が紡がれてきたことを物語っています。春には13000株以上のカタクリが咲き乱れる美しい季節を迎え、まさに賽郭が描いた松山本草の世界を垣間見ることができます。この機会に是非ご賞翫ください。

1. 出品内容

森野家文書(賽郭祠堂碑軸・森野家芳名録(一部)・家則・書簡類他)、森野旧薬園保存会有志肖像写真、植物研究雑誌、松山本草レプリカ、旧薬園保存会寄付一覽扁額レプリカ、大阪大学総合学術博物館所蔵生薬資料他

2. 展示構成

第1章(資料室1F) 森野家のあゆみと学際的交流

第2章(資料室2F) 薬草栽培への情熱と挑戦

第3章(旧葛工房) 旧葛工房にみる製造技術:水飛法と寒晒し



薬草木殖方製法申上候書付

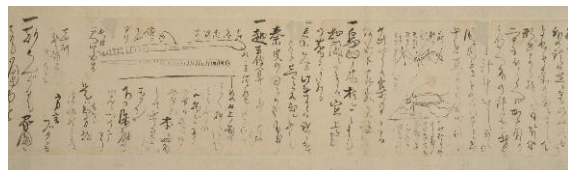
3. 会場 国史跡 森野旧薬園 資料室他

(但し森野旧薬園入園料として500円必要)

〒633-2161 奈良県宇陀市大宇陀上新1880

4. 会期 2025年3月23日(日)～6月15日(日) 期間中無休

開館時間 9時30分～16時30分



水谷助六 書状

主催:森野旧薬園 共催:大阪大学総合学術博物館

協力:一般社団法人日本東洋医学会・近畿大学薬学部 薬用資源学研究室・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構・つくば牡丹園・(株)前忠・日本漢方生薬ソムリエ協会・七王工業(株)・(株)栃本天海堂・福田商店・愛知教育大学教育学部社会科教育講座日本史研究室・アカデミックシアタープロジェクト「生薬の図書館プロジェクト」(展示協力)

展示解説:3月23日(日)、4月27日(日)、5月11日(日) 13時～15時(予約不要)

(森野旧薬園研究員 善利佑記、高浦佳代子、愛知教育大学 加藤真生)

このほかの日時で希望される方は、ご予約下さい(同 顧問相談役 高橋京子 Tel :0745-83-0002)

宇陀松山地区の観光ガイドをご希望の場合は、2週間前までに観光ボランティアガイドの会(宇陀市観光課内 Tel 0745-82-2457)へお問い合わせください。

本研究の一部には独立行政法人日本学術振興会2017-22年科学研究補助金基盤研究(B) 特設分野研究(17KT0079)、2023-24年研究活動スタート支援(23K18705)、大阪大学総合学術博物館第7回特別展(2014年)、農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」(2016-2020年)の成果が含まれる。